

# せいわ

茂



当時の静和寮での夕食風景

静和寮  
流れ澄む  
芦田の川辺  
古い人ら  
なごみ憩える  
ここ静和寮

三昧線に合わせて踊る人々

☆発行所☆  
**府中静和寮**  
広島県府中市土生町1636番地の1  
TEL(0847)41-2375  
FAX(0847)41-8620

☆発行人☆  
寮長 大橋 真

## 静和の軌跡 ③

終戦を迎えた、ガレキと化した町を復興させたために人は、あらゆる努力をしてきた。終戦直後に生まれた四、五十年代は、戦後日は、戦後日

本の社会措置を築きあげ人々の暮らしを大きく変えて、怒涛のごとく突き進んできた。静和寮の老人も過去の日本を忘ることなく内に秘め、そして目の前の生活の不安と希望をいだきながらその日その日を過ごしていくに違いない。さて、昭和三十年代の静和寮での生活状況はどうだったのだろう。

## 高度成長期に向けて

本の社会措置を築きあげ人々の暮らしを大きく変えて、怒涛のごとく突き進んできた。静和寮の老人も過去の日本を忘ることなく内に秘め、そして目の前の生活の不安と希望をいだきながらその日その日を過ごしていくに違いない。さて、昭和三十年代の静和寮での生活状況はどうだったのだろう。

例えば、娯楽でいうと、テレビ、ラジオ、レコード、碁盤、将棋盤、新聞、雑誌などを備え付けていた。また、法話や演芸会、地方の年中行事なども取り入れて、生活に変化をつけようとしていた。寝具は、敷布団一枚、掛け布団一枚、毛布一枚を標準として、本人が持っている場合は当寮の備品を貸出していた。衣類についても、

（つづく）

は昭和三十三年度予算で一人一日、平均四十八円で熱量千八百三十カロリー以上を摂取するよう予定している。

### 介護支援専門員ってなにをする人

### 『福祉』なんでもトピックス

前号で要介護認定に関連して、介護支援専門員の存在を書いた。この専門員とは何をする人かを、今回は概略説明することにした。これからは要介護者（要介護者と認定された者）一人ひとりが持つ、解決してもらいたい介護問題や状態に見合った介護サービスを提供するために、保険・医療・福祉の持つ専門性を総合的・一体的になお且つ、それを効率よく提供するためには必要な仕組みとして、保険制度に介護支援専門員制度を取り入れて、一つの機能として確立させたものである。

この機能に参画しようとする介護サービス実施事業者は、必ず介護支援専門員と

を置くこととなっている。では、実施事業者は「在宅で生活し、介護サービスを受けようとする人に対して、サービスを提供する事業者、介護老人福祉施設など介護保険施設で同じくサービスを受けようとする人に対しても、サービスを提供する事業者」のことである。少し堅苦しいが、関係法文を引用してみると、「要介護者などからの相談に応じ、及び要介護者などがその心身の状況などに応じ、適切な居宅サービス又は施設サービスを利用できるよう市町村、居宅サービス事業を行ふ者、介護保険施設などの連絡調整などをを行う者である。要介護者などが自立して生活を営むのに必要な援助に関する専門的知識及び技術を有する者とし

て、厚生省令で定める者をいう」となる。平易に言い表せば、「介護サービスを受けようとする場合、介護保険制度の人口部分から接触する人で、お互い信頼の下でお付き合いしなければならない人」と言える。

介護支援専門員の仕事内容の代表的なものを挙げてみると①要介護認定申請などの代行、②要介護認定調査の調査員、③介護サービス計画（ケアプラン）の作成、④関連機関との連絡調整など（本人、家族などからの希望、意見聴取なども含む）となる。

### 介護支援専門員の心得

- 一、日常生活の自立支援に必要とする援助に関する専門的知識技能を備えているか。
- 二、要介護者、家族などからの相談に的確に応じているか。
- 三、市町村、サービス提供事業者などの連絡調整などが円滑に行われているか。
- 四、利用可能なサービス情報を幅広く収集し、利用者に情報提供ができるか。
- 五、サービス費用と一部負担金の内容説明が、キッチリできているか。
- 六、居宅と施設の間には何等のハードルもないことの自覚ができるか。
- 七、常にフォロー・アップを忘れないでいるか。
- 八、公正・中立にして且つ迅速に業務を遂行しているか。

この機能に参画しようとする介護サービス実施事業者は、必ず介護支援専門員と

最後に介護支援専門員とは、「マメで親切で、切れ者で、公正・中立な人間」ということになる。

（大橋）

# 介護者は今

野山もすっかり  
紅葉が深まる季節  
になり、今日は新  
市の精興園に主人  
の付添いで、菊花  
展を見にデイサー  
ビスより連れて行  
つて頂きました。  
記念写真を撮り、  
コーヒーとお菓子  
をお接待して頂き、  
職員のユーモアあ  
る会話と秋色にこ  
ども秋色にこ

とのほか心にしみる一日で  
した。  
主人が年金をもらえるよ  
うになり、旅行に行こうと  
楽しみに毎日働いていま  
たが、二年半前に主人が脳  
梗塞で倒れ、自分で歩く事  
も食事も出来ない身体にな  
り、私も無我夢中で看病を  
し、その日その日をすごし  
てまいりました。  
リハビリが始まり少し足  
が前に出るかと思いつ  
くや、

府中町 豊高 妙子

## せ い わ 3 号

3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月
ひな祭り	節分豆まき	新年会	クリスマス会	菊見物	カラオケ	ミニ運動会	ちぎり絵作り	七夕祭り	あじさい見物 かわいもち作り	さつき見物 シヨンシヨー	お花見

毎月……誕生会

## 平成十年度の行事

午後からリハビリを兼ねて  
レクリエーションを行って  
います。ゲームや製作、ま  
た季節に応じた行事なども  
行っており、その中では何  
度か外出もしています。

十一月は、精興園に行つ  
てきました。とびっきりの  
おしゃれをして「毎年この  
日を楽しみにしているよ。」

と言われたり「家ではなか  
なか行かれないでいい気  
分転換になるよ。」と言わ  
れたり、きれいな菊を見な  
がら「こんなきれいな菊初  
めて見たよ。」と感激され  
ている方もおられました。

次の外出予定は春の花見。  
桜の木の下で宴会とまでは  
いきませんが、お茶とお菓  
子でのんびりと過ごして頂

ります。  
車イスに乗っているから  
行けない、寝たきりだから  
無理と思われている方はお  
られませんか?そんな心配  
はなしにして、たくさんの  
友達と一緒に出かけましょ  
う。そして外の風を吸いま  
しょう。新しい発見がある  
かも知れませんよ!!



「私達きれいですょ」  
(精興園)



★安々来々…★  
(誕生日会)

今回より、静和寮の全職員を十二支の順に紹介させて頂きます。

干支や星座、それに好きな食べ物、好きな有名人を聞いてみたので、それぞれの職員をイメージしてみて下さい。

当たらずとも遠からずかな…?

## ザ・仕事師

(その1. 子年・丑年)



※注  
1.星座  
2.好きな食べ物  
3.好きな有名人



事務員  
神原文子  
1.みづがめ座  
2.フルーツ  
3.中村吉右衛門

寮母  
宮口和恵  
1.かに座  
2.カレーライス  
3.赤坂英和

寮母  
三好真理子  
1.やぎ座  
2.中華料理  
3.リバーフェニックス

調理員  
清水皇子  
1.てんびん座  
2.チョコレート  
3.福山雅治

事務員  
平井さおり  
1.いて座  
2.バームクーヘン  
3.SMAPの中居くん

# 私の好きな事 得意な事



カラオケ



折り紙



二人はいつも仲良しこよし★



編み物

毎日欠かさず付けてます  
日記

編み物



洗濯物たたみ



おしぼりたたみ



得意なのは金魚「この折り方知つる?」

二人はいつも仲良しこよし★

「ビジネス」ときれいにたたみます

カルカルッと丸めるんでやんす

頑張ってマ～ス★

毎日二人で

ウエイトレス

セーターに腹巻きプロ顔まけ

～

何でもおまかせ下さい

好きな歌は田端よしお「かえり船」一曲繰り返す

ミシンかけ

毎日欠かさず付けてます  
日記

## 喜怒哀樂

第三回

### 「哀」

奥野内科医院

奥野府夫

哀(イ)はかなしいことです。悲(ヒ)とどう違うのか辞書で調べてみると、哀の反対は喜でともにかなしい事とあります。結果二つの字は同じようにかなしいことを表すと考えてよいようです。

作家有島武郎は、「一番の哀しみは親子になつたことだ」と言っています。親子関係がぎくしゃくしている有島ですから、この言葉は彼にとって特別な意味があるのでしょうか、そうではなくとも親子になることは生まれてきたことと同じなので、人世は哀しみに満ちているというふうに解釈できます。

私にとって何が一番哀しいだろうかと考えてみます、それは人との別れであります。別れといっても卒業とか転勤とかの一時的な別れ(生き別れ)もあれば、死による永遠の別れ(死別)があります。別れといつても卒業とか転勤とかの別れもあります。

先日も中国残留孤児の方

が来日されて肉親探しをさ

れていますが、これなどは生き別れのひどい例でしょう。敗戦の混乱の極みの中で、最愛の子供を置いて来ざるを得なかつた親の気持ちはいかばかりか、置き去りにされたこの哀しみは平和な日本に暮らす私には想像することすらできません。

残り孤児を描いて大ヒットした山崎豊子さんの「大地の子」は、本もよかったです。がテレビも劣らずいい作品でした。自分たちだけでも生活が苦しいのに孤児、陸本人だからということで育てた中国人夫婦、特に包囲された村から脱出する時、日本人だからということ、心を我が子のように育てられた孤児が、自宅の庭に咲く花に親が、自宅の庭に咲く花に子を託した短い童話を書いておられましたが、生きる

いつの世も哀しい目をし、辛い思いをするのは市井の人々なのだと思います。抜いておられて、出家して親子の縁を絶ち、妻帯せず子を持たずにおられたのぞあろうと思います。

我々普通の人間としては、生まれたからには哀しみは避け難く、哀しいときは哀しみに打ちひしがれて、たびたびすらが哀しみを癒してくれるのを待つかないのではなかろうか。私は

ありますが、それこそ走馬燈のように脳裏に浮かんできたものでした。通夜の読経の後でお坊さんが順縁、逆縁ということでお話をされました。子を産み育てて死んでいくのが順縁で、これが逆に親が子の死を見なければならぬとしたら、どんなにも辛いものであるかと論されました。

今夏の和歌山毒カレー事件でわが子を亡くされた母さんは肉親の情を断ち切り難いこのあたりのことを見抜いておられて、出家して親子の縁を絶ち、妻帯せず子を持たずにおられたのであります。そこで、その哀しみがあつてか、その哀しみはひとしおでした。父と過ごした日が断片的には



私の人生の思い出は、色々あります。二つ程紹介いたします。まず一つ目は、溺れた子供を助けたことです。あれは、姪と一緒に一人で銭湯に行つた帰りの事でした。「今日は、いつもと違う道を通つて帰ろう」という事になり二人で歩いていると、向こうから白い物が流れてきたので「あれは何じやろか?」と思ひ、よく見ると女の子ではありませんか。とつさに私は、持っていた洗面器を投げ捨てて、川に飛び込んで、女の子を助けあげました。

お正月には、「首無し地蔵様」といいます。それでもう一つ、府中市には「首無し地蔵様」といいます。そのお地蔵様が、見つかった時のことを。私が、墓に参ろうと歩いていると、知り合いの人が、何かを掘っているのです。何をしているのかと、しばらく見ていると何か四角い物が出てきました。それが地蔵様だったのです。

今では、皆さんご存知の「新しい自分を求めて」今までボランティアという言葉はよく耳にしていましたが、私がその活動をするのは今回が初めてです。五年前、嫁でいる娘が脳内出血で重体となり、今でも重い障害を残しています。娘の介護をしてきてその間、通り全国各地から、お参り

## 町を歩けば○○に当たる

広本 マス 95才



三味線を持つと  
シャキッとした。

に来られる程に有名になつています。お地蔵様が、掘り出される時に、偶然にも出くわすとは、私も幸せな事だと思いました。

私は、子供がおりませんが、やさしい姪がよくしてくれるので幸せです。毎日のんびりと暮らし、これからどんな出来事に会えるか楽しみです。

出会い、世の中にはなんど障害を持つ人が多いこととかと、つくづく感じました。多くの人の励ましと力添えで明るく頑張つてこれた私達です。

娘も大分よくなり嫁ぎ先へ帰り、少しゆとりが出来た今、恩返しの意味をかなか地域社会の役に立った

## ボランティアをして感じたこと

### 新しい自分を求めて

人、すまないすまないと恐縮する人、この人達の今までの人生を思うと、どんも大事な尊い人達で、ここでの仕事はやり甲斐があり一生懸命頑張ろうという気持ちになります。

家庭や雑用でだらだら生

活しているより、一步家を

出ることで、生活に張りができる、新しい自分が見出せこれから人生をどう生きるべきか、自分の使命は何なのかと、考えるきっかけとなりました。ボランティアをさせてもらうことで、多くの人や色々な場面に出会い、それが自分を豊かにします。

塚前浩子

## 体にやさしい健康食 あなご豆腐



エネルギー…207kcal  
タンパク質…16.6g

### 作り方

- 木綿豆腐をしっかりと水切りする。
- ①の豆腐を横1/4切りにする。
- 豆腐の片面に片栗粉をふり、あなごを豆腐いっぱいにのせる。
- ③の上面に、片栗粉をふり、豆腐をのせ、また片栗粉をふり、あなごをのせ15分位中火で蒸す。
- ⑤たれの材料を合わせ、一煮立ちさせる。
- ⑥蒸し上がったあなご豆腐を半分に切り（これが一人前となる）たれをかけ柚子を添えて出来上がり。

### 材料

あなご	4切 (1切40g位)
木綿豆腐	1丁
片栗粉	大さじ1
たれ	100cc
かつおだし みりん 醤油 酒 柚子	大さじ1強 大さじ1 1/3 小さじ2 適宜

編  
集  
後  
記

本年もよろしくお願ひいたします。

そうしたところ、先日そ娘さんが面会に来られていると言う話を聞いて中学生本人と、その家族が訪ねて来られました。とても感動的な対面でした。「せいわ」を通じてこんな暖かい出会いがあり、嬉しく思いました。